

NEWS RELEASE

平成 19 年 5 月 16 日

市光工業株式会社

ICK003

市光工業株式会社

人とクルマのテクノロジー展に出展

～5 月 23 日から 25 日にかけてパシフィコ横浜展示ホールにて
実施される自動車技術展にブースを設置～

市光工業株式会社（本社：品川区五反田、代表取締役社長：市川 侑男、以下市光工業）では、5 月 23 日から 25 日にかけて、パシフィコ横浜の展示ホールで開催される「人とクルマのテクノロジー展」（主催：社団法人自動車技術会）に出展します。

市光工業では、同展示会に 1992 年の開始以来、市光工業が誇る技術力の高さや製品ラインアップの多さを訴求する目的に、毎年出展しています。本年は、業界関係者や来場者に向けて広く認知を促進させることを目的に、360 度全方位の安全を、24 時間確保することが可能な未来の車のあるべき姿「オムニアイズコンセプト」を中心に市光工業の主力製品となるヘッドランプやテールランプ、ミラーなどのデザイン提案や、様々な周辺技術を中心に展示する予定です。また、本年の市光工業のブースは質感の高いハイセンスなブースデザインを目指し、来場者が訪問しやすいような工夫が随所に施されています。

市光工業が出展する「人とくるまのテクノロジー展」は、自動車技術の分野の展示会としては最大規模と言われています。自動車、部品、材料メーカーやテストング、CAE ソリューション、カーエレクトロニクス関連企業が保有する最新製品と技術を一堂に展示されるもので、自動車産業の携わる人々の交流の場としてすでに定着しています。1992 年の開催以来、毎年多くの出展者と来場者数を記録しており、2006 年の出展社数は過去最多の 353 社（849 小間）と 7 年連続記録を更新し、展示期間 3 日間における来場者数も 57,671 名と過去最多となっています。本年は、360 社が出展し、55,000 名を越える来場者が期待されています。

なお、人とクルマのテクノロジー展に関する概要は別記の通りです。

世界の技術光源になる

ICHIKOH

(このニュースリリースは森林保護のために再生紙を使用しています。)

(参考)

市光工業株式会社（以下、市光工業）は、1930年に設立以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及びGMやダイムラークライスラーなどの海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）ヘランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、また、次世代の光源として注目されているHIDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで23%、ミラーで26%といった大きなシェアを誇っています（2006年実績）。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3443-7281

報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3433-7281

(株)VAインターナショナル
田中/川崎

TEL: 03-3499-0016
FAX: 03-3499-0017

概要

- 展示会名： 人とクルマのテクノロジー展
- 開催日時： 2007年5月23日（水）～25日（金）
開場 10:00～閉場 17:00
- 主催： 社団法人自動車技術会（会長 大久保 宣夫）
- 会場： パシフィコ横浜展示ホール



市光工業のブースイメージ